

臨床研究「高額薬の Drug Vial Optimization に関する研究」について

筑波大学附属病院薬剤部では、標題の調査研究を実施しております。この研究に関してご質問などがございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

本研究の概要は以下のとおりです。

1. 研究の意義と目的

近年、高い臨床効果の得られる治療薬が次々に登場する一方で、それらの治療薬は高額である為、医療費増加の原因のひとつとなり問題視されています。注射薬の多くは「バイアル」と呼ばれるガラス瓶に封入されていますが、投与量は患者さんの体重や体表面積にあわせて細かく設定されており、残念ながらバイアル内の薬液をすべて使い切らないこともあります。

本研究では、治療ごとにどの程度の残液が生じているのかを調査し、そのデータを活用して医療費削減につなげていきたいと考えています。

2. 研究対象

2016 年 4 月から 2028 年 3 月の期間において、悪性腫瘍や自己免疫性疾患の治療を受けた患者さん、および高薬価な医薬品を治療に用いた患者さん

3. 研究期間

倫理審査委員会承認後～2029 年 3 月まで

4. 研究の方法・取り扱うデータ

対象となった患者さんの性別、年齢、身長、体重、疾患名、処方内容、臨床経過の内容を使用して、調査研究を行います。

5. 研究責任者名

筑波大学医学医療系・筑波大学附属病院薬剤部部長 本間 真人

6. 保有する個人情報の利用目的、開示手続

この研究から得られた結果は、学会や専門雑誌での発表に使用されますが、いずれの場合にも名前や生年月日、住所などの個人が特定できる情報は一切公表されず、プライバシーは十分に守られます。また、患者さんご本人には、ご要望があればいつでも情報を開示することができます。

7. 本研究への参加を希望されない場合

ご自身が調査の対象であるかどうかを確認されたい場合は、下記の【問い合わせ窓口】までお問い合わせください。また、研究への参加を希望されない場合には、結果の公表前であれば対応致しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

【問い合わせ窓口】

研究担当者：大久保 真貴（薬剤部・薬剤師）

連絡先：筑波大学附属病院 住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-896-7165（薬剤部調剤室 平日 8:30～17:15）